

CREATE LASTING IMPACT

持続可能なインパクトを生み出そう

2026～2027年度RI会長メッセージ

WEEKLY REPORT

SEPTEMBER.30.2026 第2200回

OCTOBER.3.2026 第2201回

UEDA EAST 上田東ロータリークラブ

第2600地区 東信第2グループ 創立1978.6.14

会長/田守正彦 幹事/水出博史 会報委員長/柳澤 誠

例 会：毎週水曜日 午後12:30～1:30

会 場：上田東急REIホテル

事務局：上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F
TEL 0268-21-3500 FAX 0268-21-3501

U R L : <http://www6.ueda.ne.jp/~uedaeast-rc/>

E-mail: uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp

第2200回例会

橋上ガバナー公式訪問

9月30日(水)

RI第2600地区ガバナーの橋上信久様が、上田六文銭RCとの合同例会に公式訪問されました。RI会長やご自身の紹介に続き、国際協議会での様子(レポートも書き、ディスカッションし...とのこと)、また地区目標や、変化するロータリーのお話がありました。



国際ロータリー第2600地区

ガバナー 橋上 信久様

【プロフィール】

ロータリークラブ入会は2001年。飯田南RC所属。医療法人健生会の理事長を務められ、職業分類は老人福祉事業。車・旅行・グルメ・歌舞伎鑑賞・美術博物館めぐりetcと趣味は幅広く、特に阪神タイガースのファンとのこと。



コフォートメンバーとの昼食会
米国のドン・ウェットモアGEとベターカードン氏にドイツのゲサ・フォルクGE夫妻、同期GEの中島君



午後の分科会
インドのGEカーマ・エガシー氏始めドイツ、オランダのGEと共に分科会とインドネシアのGEラスマナ・センダリウス氏を交えた分科会、国際的

Rotary
第2600地区

2026-2027年

持続可能な
インパクトを
生み出そう

**CREATE
LASTING
IMPACT**

Rotary

DELIVER ON THE PROMISE
約束を果たす夕食会




フランチェスコ・アレツコ
前RI会長とのツーショット

この日の夕食会は皆END
POLI NOWの赤Tシャツを
着て参加

本大会前夜祭




総勢千数百名、ほぼホテル貸し切り状態で世界のロータリアンとの前夜祭が、RI会長始めRI会長エレクト、RI理事そしてガバナーエレクトが一室に会してホテルの中庭で行われました。

偶然にも通りかかった今年度RI会長ババロラ夫妻と記念撮影に成功。

2026-2027年度RI第2600地区運営方針

COMEBACK TO SHINSHU

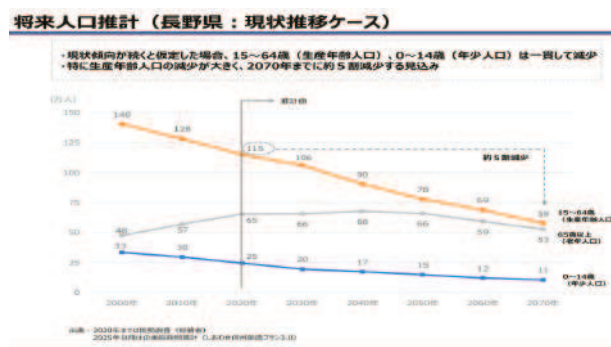
次世代に向けて魅力ある「ふるさと信州」の環境づくりを新たな発想で、考え行動しよう！

COMEBACKには大切なものを思い出す
もう一度挑戦する、振り返る
さらに良くなって帰ってくる
復活や再起という結果や状態などの意味があります









2026-2027年度 クラブスローガン 『お互いを知り、つながりを深める』

私たちロータリアンの知識経験を生かし進学後に戻ってこない青少年や、その親世代を地元に戻し留め、更に地元から離れている人達や地方の人達に新たな興味を持ち戻ってもらう、来てもらえる様に行動を起こしましょう。

内なる変化
会員増強
退会防止

将来身近なロータリアンに成り得る金の卵・原石たちを発見発掘し、故郷信州に帰って来てもらう、興味を持って来てもらうための活動を行いましょう！

ロータリアンのスキルを活かした「キャリア・メンタリング」

○職業スキルの共有と指導

ロータリアンは多種多様な専門知識や経営スキルを持っています。Uターンを検討する若い職業人に対し地元のビジネスリーダーである会員がメンター（相談役）となり、職業指導やスキルの伝承を行うことで、地元でのキャリア形成に対する不安を解消し、入会への大きな動機付けとなります。

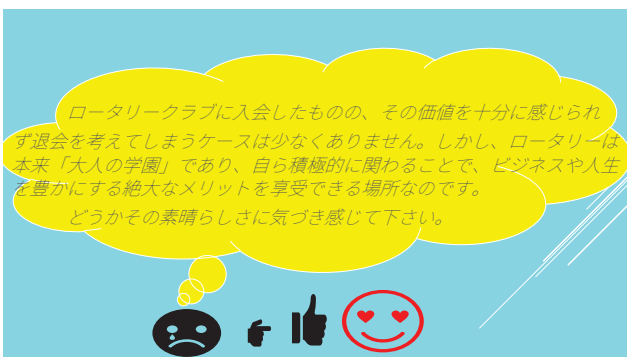
○ビジネスネットワークの提供

ロータリーは「ネットワークの元祖」であり、地元の有力な職業人と出会う絶好の機会を提供できます。若い世代にとって、地元での人脈作りや未知の領域の勉強ができる場としての魅力を強調することが有効です。

家族を大切にす文化の活用

○家族参加型の活動

若い世代は家族との時間を重視します。クリスマス会、遠足や旅行など「〇〇家族会」などの親睦行事を増やしパートナーや子どもを招待し、家族の理解と協力を得られるオープンな環境を作ることで、家族地域に根差した活動としての安心感を提供できます。



「早期退会」を防ぎ、定着するためのマインドセット日本のロータリーは「高齢化・高コスト・運営の硬直化」という課題を抱えていますが、それを乗り越える価値があります。

「大人の学び舎」と捉える：ロータリーは、多様な職業のリーダーと競争なしに付き合える唯一無二の場所です。利害関係のない仲間と切磋琢磨することで、「自分自身の中の良い変化（成長）」を生み出すことができます。やりがいのある奉仕活動に参加する：子ども食堂や地域の清掃など、直接「ありがとう」と言われる活動に積極的に関わしましょう。目に見える成果と感謝が、入会して良かったという実感（満足度）につながります。

「新たな会員を呼び込む」ための戦略的アプローチ
会員増強は、クラブの活力を維持するために不可欠な活動です。

「クラブビジョン」を共有する：「いつまでに、どのような規模で、どんな活動をしたいのか」というクラブの目指す姿を全員で議論し、腹落ちさせることが第一歩です。目標が明確になれば、勧誘への熱意も生まれます。先ずは時の会長幹事が積極的に勧誘活動を行いましょう。

「三種の神器」を携行する：常に「入会申込書」「クラブのプロフィール」「ロータリーの解説資料」をセットで持ち歩き、チャンスを逃さないようにします。

「相手のためになる」勧誘を行う：単なる人数合わせではなく、「ロータリーに入ることが、いかに候補者自身の成長や人生の充実に役立つか」を誠意と情熱を持って伝えます。

多様性（DEI）を重視する：若手や女性会員を積極的に迎え入れる体制を整えましょう。多様な価値観が混ざり合うことで、クラブに新しい活気が生まれ、さらなる入会者を惹きつける魅力となります。



ロータリーは

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という精神で成り立っています。まずはあなた自身がルールを理解しつつ楽しみ、誰よりも活発に活動することで、その輝きが自然と新しい会員を呼び寄せる磁石となるはずです。

会員でいるということに意味を見出せずつまらないと思っている原因は、あなた自身にあるのかも・・・

この動画の最後に、ポールハリスが語っている言葉を、あらためて敬意を持って載せて頂き、皆さんのクラブでの一年間のご活躍を心より期待し、お祈り申し上げます。

*If Rotary is to realize its proper destiny ,
it must be evolutionary at all times , and
on occasion , revolutionary .*

ロータリーが、その本来の使命を果たすためには、常に進化を続け、時には革新的な変化を起こさなければならない。

- 司 会 橋詰洋平君
 ●斉 唱 「奉仕の理想」
 ●ビジター 橋上信久様(国際ロータリー第2600地区ガバナー)
 桑原茂実様(東信第二グループガバナー補佐)
 松下 透様(飯田南ロータリークラブニコニコ出席副委員長)
 宮川 泰様(ガバナー補佐幹事)
 ●ラッキー賞 清水一典君(上田東RCから季節のアレンジ花)
 松山賢太郎君(上田六文銭RCから高級お茶づけセット)
 ●友 愛 賞 橋上信久様(田守会長よりワイン)
 松下 透様(塚田君よりロイズのお菓子)
 柳澤 亨君(竹花君より和菓子)
 工藤 恒君(春原君よりドバイのお土産)
 玉井権太郎君(渡辺君より能戸のカレー&シチュー)



■会長挨拶

田守 正彦 会長



皆さま、こんにちは。

今日、上田東ロータリークラブは、第2200回例会を迎えました。2200回と聞くと、改めて大きな数字だなと感じます。この間には、コロナ禍で例会を開くことさえ難しい時期もありました。それでもできる形を探しながら、平均して年40回ほどの例会を重ねてきたことになります。

今日までクラブを築き上げつないでこられた歴代会長、そして会員の皆さまに、まずは心から「ありがとうございます」と申し上げたいと思います。

そして、本日、橋上信久ガバナーを公式訪問でお迎えできることを、大変うれしく思います。橋上ガバナー、ようこそお越しく下さいました。会員一同、心から歓迎申し上げます。また、本日ご一緒いただいている上田六文銭ロータリークラブの皆さまにも、日頃からの温かいお付き合いに厚く御礼申し上げます。これまで2200回の例会の中には、学びのあるお話も、楽しい会話も、時には真剣な議論もあったことと思います。そうして顔を合わせ、言葉を交わしてきたことが、上田東ロータリークラブの今日までを支えてきたのでしょう。

本日は橋上ガバナーのお話を伺い、私たちのこれからを考えるよい機会にしたいと思います。今日を一つの通過点として、次の例会も、そのまた次の例会も、皆さまと楽しく、実りある時間を重ねてまいりましょう。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

■幹事報告

水出 博史 幹事



- ・米山記念奨学会より『ハイライトよねやま』318号と2025年度事業報告書、10月米山月間の資料が届く。
- ・地区大会信任状提出依頼が届く。
- ・佐久コスモスRCより 第37回RYLAのお礼状が届く。

■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本 日	52	48	18	—	62.50%
前々回	52	48	15	7	83.33%

ニコニコBOX

(敬称略)

松下透(飯田南RC)、水野泰雄(上田六文銭RC副会長)
 戸堀真澄(上田六文銭RC幹事)

飯島(洋)、石井、上原、工藤、久保、倉島、後藤、小林塩之入、春原、関、滝澤(修)、竹内、竹花、玉井、田守塚田、橋詰(洋)、舟見、松山、水出、蓑輪、母袋(創)母袋(卓)、柳澤亨、柳澤誠、山寺、渡辺

※松下 透さん/本日はよろしくお願いします。

※水野泰雄さん/本日はガバナー訪問、よろしくお願いします。会長不在で申し訳ございません。

※戸堀真澄さん/ガバナー訪問よろしくお願いいたします。

※田守正彦君/橋上ガバナー本日は宜しくお願いします。

※渡辺敏成君/橋上ガバナーようこそ。御子息が上田医療センターに御勤務とのこと。依田窪病院の城下院長が「よろしくお伝えを」とのことでした。

※水出博史君/橋上ガバナー、飯田南RC松下様、ようこそ。本日はよろしくお願いします。

※飯島洋一君/橋上ガバナー、ようこそ!!

※滝澤修一君/ガバナーをお迎えして。

※竹内 強君/ガバナー&桑原君をお迎えして!

※塚田泰裕君/橋上ガバナー、ようこそ。

※松山賢太郎君/橋上ガバナー、桑原ガバナー補佐、宜しくお願いします。

※母袋創一君/橋上ガバナー、ようこそ。

※母袋卓郎君/COMEBACK TO SHINSHU 橋上ガバナー、ようこそ!

※後藤正直君/涼しかったので10月半ばに咲くキンモクセイ・サザンカの花が咲きました。

※工藤 恒君/東京は35日連続の雨。1886年の統計開始から最長記録。東京23区全体に降った雨は50mプール62万杯とのこと。よくわからない量です。今日の上田は最高のお天気に恵まれました。

本日の金額/37,000円 累計/425,000円

今年一番とっていい秋晴れの土曜日、信州大学繊維学部キャンパスで、青少年育成事業が行われました。「大学を探索し、繭で作品を作ろう」のテーマで市内5学童保育所の高学年の皆さんを中心に、講堂に集合。4つのグループに分かれ、「真綿・蚕糸館」「疾走するファイバー展」「資料館」「角真綿づくり」を見学し、「角真綿づくり」を体験しました。

【講堂で、はじめの会】



旧上田蚕糸専門学校の講堂として建てられたもの。趣のある雰囲気歴史を感じます。映画の撮影にもよく使われています。内部には蚕糸に因んだ彫刻も。田守会長の挨拶、村上学部長のお話のあと、スタッフの紹介。



【真綿・蚕糸館で、角真綿づくり】

全国から集まった繭や真綿を使ったアート作品の展示や、関連書籍の閲覧コーナーも。2階の実習室で、ぬるま湯につけてほぐきやすくした蚕の繭を木枠にかぶせるように伸ばしました。なかなか力も必要です。



【疾走するファイバー展】

最先端のファイバーテクノロジーを体験できるようにはじまり、現在は繊維科学・繊維産業の未来を見据えた展示になっています。「循環型社会」「ナノテクノロジー」など6つのカテゴリーに分かれた展示です。



【資料館、農場】

レンガ造りの資料館は蚕糸専門学校の貯蔵庫だった建物で、繭の標本や貴重な写真などを見ることができます。キャンパス内にある農場も見学させていただきました。



■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本 日	52	47	32	—	31.91%
前々回	52	48	18	9	81.25%